

令和8年度 A類定期予防接種について

○(新規)RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種化について

令和8年4月1日より、RSウイルス母子免疫ワクチンが予防接種法のA類疾病に位置付けられ、定期接種化されることが決定。

RSウイルス母子免疫ワクチンの概要

対象者	妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日の妊婦 ※過去の妊娠時にRSウイルス母子免疫ワクチンを接種したことがある方も対象。
ワクチン	RSウイルス母子免疫ワクチン「アブリスボ」
接種スケジュール	妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日に至るまでの間に1回接種 ※接種後 14 日以内に出生した乳児における有効性は確率していないことから、妊娠 39 週に至るまでの間に妊娠終了を予定している場合、その 14 日前までに接種を完了することが望ましい。
自己負担	無
接種場所	産婦人科、小児科、内科
接種開始	令和8年4月1日
母子免疫ワクチンの効果	妊婦に接種すると、母体内で作られた抗体が胎児に移行し、生まれた乳児が出生時からRSウイルス感染症に対する予防効果を得ることができる。
接種方法に関するその他の事項	・接種に際しては、接種前に母子手帳の提示を求める。 ・医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン等の他のワクチンとの同時接種が可能。 ・妊娠高血圧症候群の発生リスクが高いと医師が診断する者について、接種に際して留意する。

○(終了)HPVワクチンキャッチアップ接種について

令和4年度から、平成9年度生まれから平成19年度生まれの女性に対して3年間のキャッチアップ接種を開始した。

当初、令和6年度末で終了予定であったが、最終年度の駆け込み需要の増加によりワクチン不足が発生し、接種ができなかった方を救済するため、令和7年度から、平成9年度生まれから平成20年度生まれの女性のうち、キャッチアップ接種期間中に少なくとも1回以上接種している方を対象に、1年間の経過措置を設け、令和7年度末(令和8年3月31日)で終了とする。

○(終了)2価及び4価HPVワクチンについて

令和8年4月1日より2価及び4価HPVワクチンを定期予防接種から除くこととし、ヒトパピローマウイルス感染症に対する定期接種に用いるワクチンは9価HPVワクチンのみとする。

○(終了)4種混合ワクチンについて

4種混合ワクチンの販売が終了し、すでに医療機関に存在する当該ワクチンの在庫の使用期限が終了したことから、令和8年4月1日より4種混合ワクチンを定期予防接種から除くこととする。